

## 海水核種分析結果 < 沿岸及び沖合 >

別紙2

(データ集約: 11/4)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に約30m地点)	福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に約330m地点)	福島第一 敷地沖合15km 上層	福島第二 敷地沖合15km 上層	炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)				
試料採取日	平成23年10月10日		平成23年10月10日			平成23年10月10日		平成23年10月10日	
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )		試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	60
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	90
Sr-89 (約51日)	1.3	0.00	0.94	0.00	0.029	0.00	ND	-	300
Sr-90 (約29年)	2.1	0.07	1.5	0.05	0.030	0.00	0.023	0.00	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137については、10月11日公表。

分析機関：日本分析センター (Sr-89, Sr-90)、東京電力 (I-131, Cs-134, Cs-137)

(評価)

Sr-89, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、それぞれ告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。